野菜の生育状況及び価格見通し(平成26年1月)について (東京都中央卸売市場における主産県及び卸売会社からの聞き取りによる)

(総論)

品		目	現 在 の 生 育 状 況				
根	菜	類	だいこんは、小ぶり傾向にあるが、 <mark>回復傾向</mark> 。				
	(だいこん、にんじん)		こんじんは、夏場の高温及び少雨等の影響が残っており、小ぶり傾向。				
葉	茎 菜	類	aぎの生育は、概ね順調。				
(はくさい、キャベツ等)		ほうれんそうは細身傾向、レタスは小玉傾向にあるが、 <mark>回復傾向</mark> 。				
			はくさい、キャベツは11月中旬以降の低温等により、 <mark>小玉傾向</mark> 。				
果	菜	類	生育は、概ね順調。				
	(きゅうり、なす等)						
土	物	類	主産地の収量は、概ね平年並み。				
(14	ばれいしょ、さといも等)	たまねぎは、小玉傾向による <mark>収量低下</mark> 。				

なお、関東地方では、1月末までにかけて<mark>平均気温が平年よりも低い予報</mark>もなされていることから、今後の気温の推移によっては、<mark>関東地方を主産県とする品目</mark>(ほうれんそう等)では、価格が上昇することも見込まれる。

品目	主 産 県 ※()書きは 昨年1月の入 荷シェア。	今後の生育及び出荷見通し	価 格 見 通 し (平年比)	
			1月中旬	1月下旬
だいこん	神奈川(55%) 千 葉(34%)	・11月中旬以降の低温及び少雨により、小ぶり傾向であるものの、その後生育が回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		

にんじん	千 葉(78%) 埼 玉(6%)	・夏場の高温及び少雨や台風等の影響が残っており、引き続き、小ぶり傾向が続いていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	*	
はくさい	茨 城(83%)	・11月中旬以降の低温により小玉傾向が続いていることに加え、生育初期に台風26号の影響を受けたものについては、結球不良が発生していることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	*	*
キャベツ	愛 知(70%) 千 葉(14%)	・11月中旬以降の低温及び少雨により、引き続き、小玉傾向が続いていることから、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。	*	*
ほうれんそう	群 馬(32%) 茨 城(21%)	・1月以降、露地栽培から施設栽培の出荷が中心となるが、生育は概ね順調であるため、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。		
ね ぎ	千 葉(34%) 埼 玉(21%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
レタス	静 岡(36%) 兵 庫(14%)	・11月中旬以降の低温により、小玉傾向であるものの、その後生育が回復傾向にあることから、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。		
きゅうり	宮 崎(40%) 千 葉(19%)	・生育は概ね順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		

な	वृ	高福	知 (64%) 岡 (17%)	・生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。		
F -	ਟ ⊦	///	本 (46%) 知 (17%)	・11月中旬以降の低温により、着色が遅れ気味であったものの、その後生育が回復傾向にあることから、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
ピー	マン	宮高	崎 (40%) 知 (20%)	・生育は概ね順調であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。		
ばれし	いしょ		海道 (61%) 崎 (30%)	・主産地の収量は概ね平年並であり、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。		
さと	い t		玉 (39%) 葉 (27%)	・主産地の収量は概ね平年並であり、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並</u> になる見込み。		
たま	ね き	ぎ 北海	毎道 (95%)	・生育期の少雨により小玉傾向であることから、収量は平年を下回っており、 <u>出荷数量が平年を下回る</u> ため、 <u>価格は平年を上回る</u> 見込み。 ・ただし、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並みになる見込み。	*	